

許すな！安倍政権の暴走

参議院選で必ず安倍政権打倒を！



野市駅前

東地協は、労働者派遣法の国会審議が大きなヤマ場に差し掛かった9月9日から11日にかけて、連合の「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーンの一環として、高知市ブロックを除く他の3ブロックで街頭行動を行った。この行動では、労働者派遣法をはじめとする労働法制改悪反対のみならず、憲法違反の集団的自衛権行使に踏み切る安民法制にも反対の立場から市民に訴えた。

行動期間中の9月10日には労働者派遣法案が衆議院本会議で可決成立したことから街頭行動は途中、派遣法改悪を糾弾する行動に切り替えて行うことになった。

各行動場所では、労働者派遣法改悪については、①派遣労働は「一時的・臨時的な働き方」で、その処遇は「均等待遇」であることが国際的な基準である

が、この改悪はそれとは真逆の法改悪になっていること、②企業の利



安芸市役所西

益のために“生涯派遣で低賃金”の派遣労働者を増やしていく法改悪であること、③雇用安定措置なるものが何ら機能しないこと、④みなし雇用制度を実効性のないものにする改悪であること、などを訴えた。また、安全保障関連法案に関しては、①国民的な合意形成がほとんどないこと、②自衛隊の活動に歯止めがかからなくなること、③立憲主義に反する違憲の法案であること、などを訴えながら、地方から反対の声をあげていこうと呼びかけた。

ともあれ、派遣法については法成立という区切りがついたことから、今後はこの付帯決議を生かした政省令制定と施行に向けた取組みや、改めて労働者保護を強化する法改正の闘いが私たちに求められている。



土佐町スーパー前

東地協は、これからも続く“残業代ゼロ”の労働基準法改悪や、解雇の金銭解決制度など労働者保護ルールの改悪を許さない闘いを粘り強く地域から取り組みながら、全ての労働者が安心して暮らせる社会をめざしていく。

東地協に結集する組合員の皆さん！安倍政権の暴走に対して、労働者の権利を守る取り組みとともに、日本国憲法の三原則である「国民主権、基本的人権尊重、平和主義」を守る闘いを職場・地域から進めながら、来る参議院選で必ず安倍政権を打倒しようではありませんか！